

単元名 Unit 1 Sports for Everyone

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 現在完了形や「make＋(代)名詞＋形容詞」の文, 「SV00 (that節)」の文の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解をもとに, 相手の伝えたいことを理解したり, 自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 簡単な語句や文を用いて, 自分のことを伝えたり, 相手のことを知るために尋ねたり, 相手からの質問に答えたりすることができる。また, 教科書本文の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 現在完了形や「make＋(代)名詞＋形容詞」の文, 「SV00 (that節)」の文を用いて, 積極的に自分の経験や自分の気持ち, そして自分が言われることなどについて話したり, 尋ねたりしようとする。また, 障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えたり, 人の気持ちの変化について簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

標準的な展開例

12250102_001

【準備等】 デジタル教科書, 電子黒板, タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 現在完了形（経験用法）の肯定文について学習する。</p> <p>★現在完了形を使って, 自分の経験を話そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit1の表紙の絵について質疑応答をする。 ○Previewを聞き, 分かったことをペアで伝え合う。 ○現在完了形（経験用法）の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practice1に取り組む。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>2 Scene2 現在完了形の疑問文と答え方を学習する。</p> <p>★経験用法の疑問文を使って, 尋ねたり答えたりしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在完了形（経験用法）の疑問文とその答え方の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practice2に取り組む。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>3 Mini Activity 現在完了形の疑問文と答え方について復習する。</p> <p>★現在完了形の経験用法をたくさん使って, 相手に尋ねたり, 答えたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mini Activityに取り組む。 ○Listenに取り組む。 ○Speak & Writeに取り組む。 ○振り返り活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学習する内容について関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことで, 現在完了形（経験用法）の用法に気付かせる。 ・視覚教材を用いて「経験の有無」を導入することで生徒の関心を高める。 ・回数を表す表現や否定文で使うneverを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 【評】現在完了形を用いて, ペアで自分のことを伝え合う活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。 ・視覚教材を用いて, 「～したことがありますか」の疑問文と答え方を導入することで, 疑問文の構造や答え方を理解させる。 ・疑問文で使うeverを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 【評】現在完了形を用いて, ペアで経験を尋ねたり, 答えたりする活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 【評】現在完了形を用いて, ペアで経験を尋ねたり, 答えたりする活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。 ・現在完了形の用法を事前に復習した後に活動をさせる。 ・基本表現の定着を図る。 【評】現在完了形を用いて, ペアで経験を尋ねたり, 答えたりする活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・ワークシートへ記入させ, 取組の振り返りをさせる。 【評】振り返り活動への取組を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

4 Read and Think1 「make＋(代)名詞＋形容詞」の用法を学習し、車いすテニスの選手に関する説明文の内容を読み取る。

★自分がうれしくなることやものを友達に伝えよう。

○「make＋(代)名詞＋形容詞」の形・意味・用法を知る。

○基本表現の学習をする。

○Practiceに取り組む。

○自分がうれしくなることやものをペアで伝え合う活動に取り組む。

○本文の学習をする。

○オーラルイントロダクションを行う。

○新出語句を確認する。

○音読練習をする。

○Roundに取り組む。

5 Read and Think2 (1) 「SV00 (that節)」の用法を学習する。

★自分がよく人に言われることを友達に伝えよう。

○「SV00 (that節)」の形・意味・用法を知る。

○基本表現の学習をする。

○Practiceに取り組む。

○自分がよく人に言われることをペアで伝え合う活動に取り組む。

6 Read and Think2 (2) 障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた記事を読んで、その内容を読み取る。

★障がい者スポーツを支える技術の進歩を読み取ろう。

○本文の学習をする。

○オーラルイントロダクションを行う。

○新出語句を確認する。

○音読練習をする。

○Round / Point of Viewに取り組む。

7 Unit Activity 外国人のメッセージを聞いて、彼らをどこへ案内するかを考え、伝える。

★相手にぴったりのおもてなしプランを考えよう。

○STEP1に取り組む。

○STEP2に取り組む。

○STEP3に取り組む。

・視覚教材を用いて、教師自身がうれしくなったり、悲しくなったりする事例を紹介し、「make＋(代)名詞＋形容詞」の意味を推測させる。

・基本練習を基に、形容詞や代名詞の部分を変えて練習する。

・基本表現の定着を図る。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】「make＋(代)名詞＋形容詞」を用いて、ペアで自分のことを伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文やRoundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文やRoundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・事例を掲示し、「SV00 (that節)」の意味を推測させ、文の構成を理解させる。

・基本練習を基に、動詞の部分を変えて練習する。

・基本表現の定着を図る。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】「SV00 (that節)」を用いて、ペアで自分のことを伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Round, Point of Viewでの活動を通じて「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Round, Point of Viewでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

【評】プランを考えて発表したり、メールを書いたりする活動を通じて、「思考・判断・表

- 8 Let's Write1 英語での手紙の書き方を学習する。
★英語での手紙の書き方や表現を知ろう。
○STEP1でモデル文の内容を確認し、構成を理解する。
○新出語句を確認する。
- 音読練習をする。
- STEP2でモデル文に使われている表現を確認する。
- STEP3でファンレターを書く。
○Tool Boxでファンレターに使える表現を知る。
- ペアで、互いに作ったファンレターを読み合う。
- 振り返り活動を行う。
- 9 Let's Listen1 必要な情報をまとめて自分の意見を書く方法を学習する。
★ディスカッションをして京都での訪問先を考えよう。
○STEP1に取り組む。
- STEP2に取り組む。
- ペアで、互いの意見を発表し合う。
- 振り返り活動を行う。
- 10 単元のまとめ 単元テストに取り組む。
★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。
○単元テストに取り組む。
○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。

現」を評価する。
【評】プランを考えて発表したり、メールを書いたりする活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
- ・手紙の構成を確認しながら、内容をつかませる。
- ・気持ちを強調する表現やものを主語にした文に気付かせる。
- ・手紙を受け取る相手に合わせて、手紙の内容を考えることを伝える。
- 【評】ファンレターを書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- 【評】ファンレターを書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・手紙の内容や表現の工夫について、生徒同士で相互評価させる。
- ・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。
- 【評】振り返り活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・聞き取りのポイントを確認して、活動に取り組ませる。
- 【評】ディスカッションを聞く活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・4人の意見を基に自分の意見を書かせる。
- 【評】意見を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。
- ・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。
- 【評】振り返り活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・単元テストを通して、現在完了形や「make＋(代)名詞＋形容詞」の文、「SV00 (that節)」の文の用法についての「知識・技能」を評価する。
- ・単元テストを通して、現在完了形や「make＋(代)名詞＋形容詞」の文、「SV00 (that節)」の文を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。

【備考】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。